

ニッセンケンの試験メニューを  
世の中のいろいろな話題と自由きままにミックス!



# COLUMN 試験担当者のひとり言

お役立ちな独白 7 【数値で比較】パン袋 vs 防臭袋 防臭性能を検証

2025.7.18

前回のコラムでは、「パン袋がおむつ防臭袋の代用になるらしい?」という、SNS や育児ブログで話題の裏技をご紹介しました。実際に筆者も 1 年以上パン袋を活用していて、「なんとなく臭わないう気がする」と感じていたのですが・・・「気がする」だけでは納得できませんよね?



本当に“防臭効果”があるのか? 市販の防臭袋と比べてどうなのか?  
今回は、気になるその“防臭力”を、実際に検証してみます!

ちなみに今回の試験は、特定の製品に限らず、「実際の使用シーンに近いたち」で評価できるように設計しました。ニッセンケンでは、このように実際の使用環境を意識したアレンジ試験のご提案も行っています。

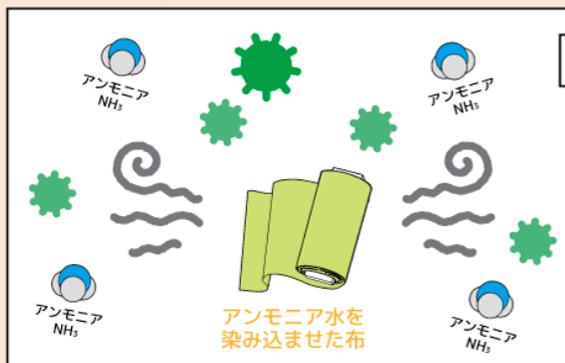
## 【検証方法】

以下の 2 種類を比較してみました。

- パン袋(市販の、一般的なもの)
- 防臭袋(生ごみやおむつ用などによく使われる専用袋)

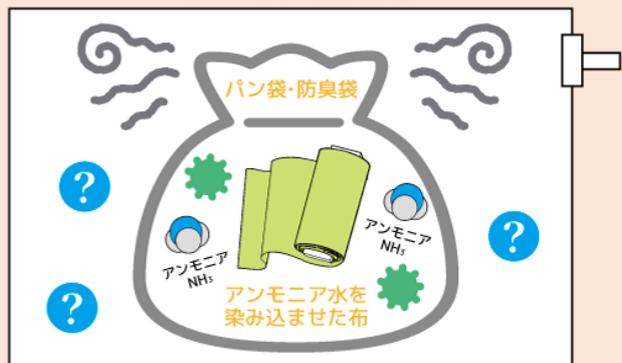
- ① パン袋と防臭袋、それぞれの袋にアンモニア水を染み込ませた布を入れ、袋の口をしっかり結ぶ。
- ② ①の袋それぞれをサンプリングバッグに入れ、室温で所定時間(2 時間、4 時間、6 時間、24 時間)放置。
- ③ 比較対象として「袋なし(=ブランク)」も用意し、同様に測定。
- ④ 所定時間後、サンプリングバッグ内のアンモニア濃度を測定し、防臭率(%)を算出する。

【袋なし (ブランク)】



ブランクは、袋ありとの比較対象として「ニオイが全て漏れている状態」を再現

【パン袋、防臭袋】



パン袋または防臭袋から漏れたアンモニアの濃度を測定する

## 【検証結果】

それでは、結果を数値で見てください！

測定時間	2 時間後	4 時間後	6 時間後	24 時間後
パン袋:防臭率(%)	94.3	90.9	86.1	11.8
防臭袋:防臭率(%)	96.2	95.5	93.3	76.5

### ■パン袋 vs 防臭袋:短時間はほぼ互角、長時間で差が歴然！

意外かもしれませんが、パン袋の防臭率はかなり高めでした。6 時間以内であればパン袋も十分な防臭効果を示し、防臭袋と大きな差はありません。しかし、24 時間の長時間となると、パン袋の防臭効果は一気に低下しています。一方で防臭袋は、長時間にわたって高い防臭効果を維持していました。

今回使用したパン袋は、表面がツルツルしていて結びにくく、しっかり結べていないとニオイが漏れる原因にもなりそうです。一方、防臭袋は手に馴染む柔らかい素材で結びやすく、そうした使いやすさの違いも、防臭性能に影響を与えた可能性があります。

### ■パン袋の防臭性能、短時間用途では侮れない

防臭袋は長時間の防臭効果に優れており、旅行・災害時・夏場のごみ保管など、頼れる存在です。しかし今回の検証で、短時間の一時保管であれば、パン袋も“代用品”として十分に使えることが分かりました。たとえば「ちょっとしたお出かけ」や「ゴミ出し前の数時間」なら、パン袋も上手に活用できるかもしれません。



## 【まとめ】

短時間の仮置きならパン袋でもある程度の防臭効果は確認できましたが、長時間の使用には、防臭袋の方が効果的でした。

このように、「他社製品と比較したい」「実使用環境に近い条件で評価したい」「製品仕様に合わせて試験内容を調整したい」など、企業様ごとのニーズに応じて、ニッセンケンでは柔軟なカスタマイズ試験をご提案しています。

バイオケミカルグループでは、抗菌性・消臭性・防臭性など、暮らしに密着した素材の性能評価を行っています。衣類や生活空間、介護・ペット関連まで、“ニオイの課題”に向き合い、生活者の満足度を支える「根拠あるエビデンス」をお届けしています。

製品の強みを“数値で見える化”して、伝えてみませんか？

どうぞお気軽にご相談ください！

ひとりごと執筆担当：ライフ アンド ヘルス事業本部 バイオケミカルグループ同 [ご質問はこちらからどうぞ！](#)